

2020年11月06日 11面

文字サイズ 小 中 大 [ブックマーク](#) [印刷](#) 

前田道路四国支店／巨大地震想定しBCP訓練実施／停電時の対応も確認



前田道路四国支店（高松市）は10月22日、巨大地震の発生を想定しBCP（事業継続計画）訓練を実施した＝写真。同社の全国BCP訓練の一環で、午前8時30分に震度6強の地震が発生し2メートルの津波が押し寄せたとの想定で開始。支店内に現地対策本部を立ち上げ、管内の職員と家族の安否確認や、社内拠点と工事現場の被害状況の把握を行った。

さらに、災害時応援協定を結んでいる地方自治体などとの連絡訓練を実施し、大規模災害発生時の初動などを確認した。

停電発生に備え、発電機を使い電子機器の稼働確認を行ったほか、アスファルト合材工場では停電時でも災害復旧に対応できるよう大型発電機の稼働訓練を実施した。

甚大な被害が予想される徳島県と高知県にある社内拠点では、津波被害を想定し高台にある避難場所までの移動訓練を行った。

記事ID : 3202011061111

Copyright(C) 日刊建設工業新聞 記事の無断転用を禁じます